




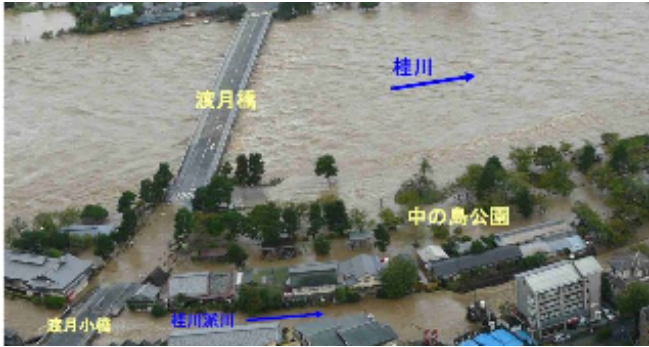



件名	<h1>「北部まち美化フェア」の開催について</h1>
発表者 所属	環境政策局北部まち美化事務所
改善前 (課題等)	北部まち美化事務所は認知度が低いうえに、公共交通機関がなかったため、市民の来所者も少なかった。
内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市バス特 37 号系統誕生と北部まち美化事務所の前にバス停が出来たことをきっかけに、ごみ減量啓発とふれあいを目的とした「北部まち美化フェア」を開催した。</li> <li>○職員が企画立案し、交通局・北区役所のほか、地元自治連合会・京都産業大学の学生も参画して準備から当日の運営まで実施した。</li> <li>○予算の無い中で、アイデアを出すことにより幅広い世代に楽しんでもらえるイベントを作り上げた。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティアスタッフ によるお出迎え</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>来場者で賑わう会場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通局・北区役所もブ ース出展</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ふれあいながらのごみ 減量啓発</p> </div> </div>
効果	<p>○より多くの方に、まち美化事務所を身近に感じていただくことができ、地域の皆様と共にごみ減量を進めていくきっかけとなった。</p> <p>○職員の連帯感や責任感が向上し、日常業務の遂行もより円滑になった。</p>

<p>件名</p>	<h1>婚姻メモリアル証の贈呈事業</h1>
<p>発表者 所属</p>	<p>下京区役所区民部市民窓口課</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>婚姻届の役所への提出は、人生の大事な節目の儀式であるが、今まではいわゆる役所的、事務的なものであり、披露宴等と違い記念となるような写真をほとんどの夫婦が残しておらず、後に「カメラに収めていれば良かった」と悔やむご夫婦も多い。</p>
<p>内容</p>	<p>下京区役所へ婚姻届を提出する新しいご夫婦に、京都市作成の「日本に京都があつてよかった」(京都御所紫宸殿編)のポスター(㊤1)を背景として、お二人の思い出となる「婚姻届提出時の写真」を撮影し、その日付け入写真を添付するとともに、下京区長からの文化の都京都にふさわしい「オリジナルお祝い短歌」(㊤2)を挟み込んだ「婚姻メモリアル証」を贈呈する。</p> <p>また、「オリジナルお祝い短歌」の裏面は、「末永くお幸せに」と言う気持ちを込めた、3年後、5年後、10年後、30年後等の未来の結婚記念日にどう過ごしたいかを当日書き込んでいただく「未来日記」とする。</p>
<p>効果</p>	<p>婚姻届時にお二人の一生の思い出となる「婚姻メモリアル証」を贈呈し、下京区長及び職員からのお祝いの気持ちを表すことによって、新たな人生の門出にふさわしい場とするとともに、<b>サプライズな演出効果</b>により下京区と京都に対する強い愛着が沸き、京都を思い出の地として、末永く心に抱いていただける。</p> <p>また、今まで残すことが出来なかった素敵なお二人の思い出が形となった「婚姻届提出時の写真」と、婚姻届出の日に、3年後、5年後、10年後、30年後等の結婚記念日にどう過ごしたいかを書き込んだ「未来日記」を折につけ見ることにより、婚姻届提出時の瞬間の気持ちを思い起こすことで、結婚に対する新鮮な思い入れをしっかりと心に留めていただくことができる。</p> <p>さらに、自宅の玄関や机等はもちろんのこと、結婚式、披露宴、二次会等の受付台に置いていただけるもの(写真立て仕様)とすることにより、ご夫婦の京都に対するイメージが大幅にアップするだけでなく、列席者についても京都ファンをどんどん増やすことができ、ひいては少子化対策や観光客増加にも期待できる。</p> <p>(㊤1) 紫宸殿前の「左近桜」「右近橘」は雛人形のモデルであり、写真の背景としてふさわしい。 (㊤2) 「千年の 京のみやこの 夫婦鶴 大空高く 飛び立ちにけり」</p>

件名	<b>平成25年台風18号における救助活動の技能伝承について</b>
発表者 所属	消防局 西京消防署
改善前 (課題等)	<p>平成25年台風18号における水災害での救助活動（嵐山中ノ島での12名救助現場）は、これまで経験をしたことのない想像を超えたものであった。</p> <p>救助活動を経験した職員だけで終わらせるのではなく、職員全員へ、また、今後配属される職員に対しても何らかの形で残しておく必要があった。</p>
内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>平成25年9月16日午前4時。台風18号による大雨で、中ノ島は胸の高さまで浸水していた。消防隊員は、暴風雨に身を打たれ、暗闇と氾濫した桂川の轟音が恐怖心をあおるといふ最悪の状況で、「中ノ島の建物の中に逃げ遅れた人がいるかもしれない。」との情報を入手した…</p> </div> <p>自身の安全も確保できるかどうか分からない、助けを求めている人がいるかどうか分からない状況で、隊員達はどのような判断をし、どのような活動をしたのか、極限状態の活動を職員へ伝承していくため、冊子やDVDの資料を作成しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
効果	<p>「大雨特別警報」の運用開始後、初めて発令された際に起きた災害であり、普段から命の危険と隣り合わせの消防隊員にとっても、特に危険な災害であった。</p> <p>そこで、隊長が何をどう考え、判断を下したのかを伝承することで、同じような災害が起きたときに、判断・行動の指針となるものとなった。</p>



件名	過去のデータを有効活用した効果的な放火防止対策
発表者 所属	消防局伏見消防署
改善前 (課題等)	<p>放火火災が発生したときに、以下のようなことを行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• その地域一帯に対して、放火防止五箇条を呼び掛ける。</li> <li>• 発生件数の多い時間にパトロール。</li> </ul> <p>上の二つに対して、多くの人員、時間を費やしてきた。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他の行政区より放火が多いという事態を、放火に関する多くのデータがあるというチャンスと捉える。</li> <li>• これらのデータを分析することで『次に放火されそうな場所』を導き出し、指導対象を絞り込むことができるようになった。</li> <li>• 放火発生場所の環境に着目したデータを収集・分析し、類似の環境にある世帯を指導等の対象とすることで、類似の放火を防止するもの。</li> <li>• データの収集・分析に時間を要すると迅速な指導に繋がらないため、これらを容易に行えるチェックシートの作成及び分析を行うエクセルのプログラムを構築。</li> </ul> <div data-bbox="1294 719 1603 954" data-label="Figure"> <p>A pie chart with a red slice representing '放火' (Arson) at 48%. Other slices in various colors represent other fire categories.</p> </div> <div data-bbox="1608 691 1984 1121" data-label="Diagram"> <p>A map diagram showing a grid of buildings. Red arrows point to specific areas, indicating the narrowing down of guidance targets. A callout box contains the text: '次の放火を防ぐための指導対象の絞り込み'.</p> </div>
効果	<p>8月1日に2人の死者を出した伏見区向島の火災では、その日に4件の連続放火があり、1週間前から換算すれば7件の放火火災が発生していた。これらの放火火災から、私たちが作成していたデータベースに項目分けをして放火火災の特徴を抽出し、その特徴を元に指導する地域を絞ることにより、以下のような二つの効果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• より具体的な情報を市民に提供することが可能になった。</li> <li>• 指導にかける人員、時間は減らすことができ、さらに連続放火火災の減少につながった。</li> </ul>

<p>件名</p>	<p>新型バスロケーションシステムの導入</p>
<p>発表者 所属</p>	<p>交通局 自動車部 技術課</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>バスロケーションシステムは、バスを待つ間のイライラ感の解消に大きく役立ち、バス待ち環境の改善に大きく貢献するものであるが、従来の無線型では、組立工期が長く、かつ1基当たりの設置費用が標準型約300万円、ナロー型約130万円(郊外設置タイプ)の費用を要することもあり、年間10基程度の設置に留まっていた。</p>
<p>内容</p>	<div style="text-align: center;"> <p>バス待ち環境が飛躍的に向上！！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都 Wi-Fi 等を活用することで、バス停からインターネットへ接続し、携帯版バスロケ(通称ポケロケ)のバス接近情報を停留所へ表示することが可能となった。</li> <li>・ポケロケ機能に追加して、車両に搭載した iBeacon(bluetooth)を活用することにより、バス接近情報の精度をより高めることに成功した。</li> <li>・バスの接近情報以外でも、「系統番号」や「行先表示名」を大きくするなど、見やすさにも工夫を凝らした。また祇園祭や京都マラソン等の各種催事においても、市バスの迂回情報や運休情報をリアルタイムで表示することが可能となった。</li> <li>・今後は、接近情報が無い間を利用して、時刻表や路線図など様々な情報を表示するなど、デジタル情報板としての機能を充実させ、更なるバス待ち環境の向上を目指していく。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>新型バスロケーションシステム</p> </div> </div>
<p>効果</p>	<p>○1基当たり約70万円と従来型の約4分の1費用で設置が可能となり、設置可能箇所200基について、従来型であれば約20年を要するところ、3年間で設置することが可能となり、設置スピードが大幅に早まった。</p> <p>○液晶ディスプレイの採用により、行先表示等の文字が大きくて見やすく、また日本語標記のほか、英語標記も行うなど、海外から来た観光客にもサービスを充実。</p>



件名	地下鉄烏丸線車両に係る月検査参考書の作成
発表者 所属	交通局 高速鉄道部 車両工場 竹田検車区
改善前 (課題等)	<p>【事実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 車両保守業務部門への配属者：未経験者（毎年）</li> <li>• 研修期間：3ヶ月（机上研修：1ヶ月 + 実務研修：2ヶ月）</li> <li>• 研修指導者：主任 + 経験15年以上のベテラン職員（ベテランの数は近年減少している） ⇒主要業務である月検査を理解できるまでの期間が5年を要している。</li> </ul> <p>【課題】 研修期間が短く、ベテランの減少により、技術継承が課題</p>
内容	<p>【改善策】 経験年数の浅い職員が早期に業務を理解し、教える側に回る必要があり、月検査参考書を作成</p> <p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①種類、各担当、各日ごとに記載し、配属者が予習／復習できるようにした ⇒月検査は7つの担当があり、2日間で実施。車両は複数の種類がある。</li> <li>②先輩職員によるアドバイス ⇒過去に発生した車両故障から学んだことを盛り込む（未然に車両故障を防ぐ）</li> <li>③配属3年未満の職員による資料作成 ⇒経験年数の浅い職員だからこそ、新規配属者が迷う部分を重点的に盛り込む</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新規配属者が月検査を理解できるまでの期間：5年 → <u>1年</u> に短縮</li> <li>② 研修指導者：主任 + 経験15年以上の職員 → 主任 + <u>経験3年目の職員</u></li> <li>③ 経験年数の浅い職員の技術力向上（知識量の増加、ベテランからの技術継承）</li> </ul>

<p>件名</p>	<h2>廃品を活用した雨水浸透ます模型の作製</h2>
<p>改善前 (課題)</p>	<p>下水道部管理課では、家庭でできる浸水対策の一つである雨水浸透ますを普及させるために助成金制度に関する業務を行っており、市民の皆様にもPRするために鳥羽水環境保全センターの一般公開等のイベント時には雨水浸透ますの模型を活用している。しかし、模型は非常に大きいことや重いことから持ち運びが不便だけでなく、多量の水を注入・排出するため、活用できる場所が限定されていた。</p>
<p>改善内容</p>	<p>課題を改善するため、簡易に持ち運びができる大きさの雨水浸透ます模型を作製した。また、片手で持てる大きさにし、視覚的に雨水浸透がわかるように、透明なペットボトルを使用した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>(従来の雨水浸透ます模型)</p>  <p>80cm</p> <p>80cm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(作成した雨水浸透ます模型)</p>  <p>20cm</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>廃品を活用することで以下のような効果を狙った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に良いとしている雨水浸透ますのイメージと合致させる。</li> <li>・一般家庭にあるものを使用し、帰宅後も家庭で作成できる。</li> </ul> </div>
<p>改善効果</p>	<p>○施設見学会・エネルギーフェア等で活用したところ、多くの方にわかりやすいと満足いただき、使用した子供の中には、家庭に持ち帰って使用したいとの要望もいただいた。</p> <p>○今後、工作ブースを設けてイベント等で、多くの子供を対象に雨水浸透ます模型を作製してもらえる。</p>

<p>件名</p>	<p><b>都市基盤の強化に貢献するための3S</b>  <b>(誠実冷静, スピードアップ, 進行管理) プロジェクト</b></p>
<p>発表者 所属</p>	<p>建設局 土木管理部道路明示課</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>プロジェクトを実施するにあたり、次の①～③の内容について、改善点や課題がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①共通認識・共通理解・情報共有の意識，進行管理の徹底</li> <li>②受付窓口のレイアウト</li> <li>③業務，能力開発に対する姿勢</li> </ul>
<p>内容</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p style="color: purple; font-size: 1.2em;">3つのとりくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>フローチャート</b>の作成</li> <li>② <b>レイアウト</b>の改善</li> <li>③ <b>心得</b>の作成</li> </ul> </div>  </div>
<p>効果</p>	<p>プロジェクトの実施後、次の効果を得ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①フローチャート・取組シートを作成することで、業務の『見える化』，共通認識・共通理解及び情報共有の意識が向上しました。</li> <li>②レイアウトの改善により，受付窓口が整然となったことで，閲覧スペースが増加し，来客の動線を確保することができました。</li> <li>③『道路明示課の心得』を強く意識することにより，能力開発ができることに気がきました。</li> </ul> <p>できることから始める! ⇒ その姿勢が自身の能力向上に繋がる! ⇒ ノウハウとして継承していくことで，業務の資質向上が図られる。</p>



<p>件名</p>	<h1>快適職場実現プロジェクト</h1>	
<p>発表者 所属</p>	<h2>上下水道局総務部用度課</h2>	
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>執務室の整理が不十分／保存年限切れの書類を局の機密書類回収時まで置いておくスペースがなく庸車してクリーンセンターまで運搬していた／業務研修の未実施／電子データの整理が不十分 等</p>	
<p>内容</p>	<p><b>より快適な職場を実現するために職場全員で以下の項目に取り組みました。</b></p> <p>1 仕事のしやすい職場環境づくり          (1) 執務室の整理・整頓          (2) 長期間保管されている書類の整理、不要な書類の廃棄</p> <p>2 事務の効率化          (1) 職員間の情報共有、協力。契約実務スキル向上に向けた研修等          (2) 電子データの整理          (3) その他事務の効率化のための取組</p> <p>3 環境に配慮した事務の遂行          (1) 節電の取組          (2) その他環境に配慮した取組</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>蛍光灯の間引き</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>みんなで話し合い</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>研修用資料の作成</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>執務室整理</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	
<p>効果</p>	<p>○ 執務室の整理・整頓、不要書類の廃棄でスペースを確保できました。</p> <p>○ 入札・契約事務研修を実施し、職員のスキル向上を図ることができました。</p> <p>○ その他いろいろ取り組むことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>整理前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: yellow;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>整理後</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>研修の様子</p>  </div>	